



運動会の練習が始まりました。思いのほか涼しく、みんな楽しそうに体を動かしています。これから、子どもも教師も真剣さが増してくることでしょう。

この前の日曜日、滝野文化会館で開かれた滝野中学校吹奏楽部の **Gracias Concert** (グラシアス コンサート) に行ってきました。スペイン語と英語が一緒になった面白い名前です。“ありがとう演奏会”ということでしょうか。1年生、2年生、3年生、それぞれの学年だけの演奏あり、みんな揃っての演奏あり、ダンスあり、合間の漫才あり、10回目という記念なのでしょうか卒業した先輩との合同演奏ありと、いろいろと楽しませてくれました。常峰会長も楽しそうにトロンボーンを吹いていらっしゃいました。会場が温かい雰囲気に包まれていました。南小の先輩たちも、生き生きとした表情で演奏したり踊ったりしていました。その様子を見てみると、これまでの練習のときの緊張や笑いやおしゃべりのある楽しい風景を想像しました。きっと、ワイワイ言いながら、部活が楽しいのでしょ

うね。いいなあ。懐かしいなあ。吹奏楽部の久々の男子として入部した南小の先輩の二人もがんばっていましたよ。

名前の通り、日頃お世話になっている方々や応援してくださる方々への感謝の気持ちを込めた演奏会なのでしょうが、こちらこそ **Muchas gracias** (ムチャス グラシアス) です。



“決め”のタイミングが難しい!

続いて、2学期が始まった南小の、わたしが嬉しくなったひとこまを紹介します。

朝、登校してくる南っ子たちと校門で挨拶をしようと、昇降口を出ようとしたときです。雨が降っているのに気が付きました。傘を用意していません。困っていると、6年生の女の子が、「これでよかったら、どうぞ。」と、傘を差しだしてくれました。子どもだったら、いえわたしだって、「これ、貸したるか。」と言ってしまいそうです。声を掛けてもらうだけでも嬉しいのに、こんなこと言われたら……。わたしのぼかんと空いた口が横に広がりました。嬉しくて嬉しくて。言葉はこんなふうに使わなくちゃ。

もう一つ。朝のサーキットトレーニングの後、玄関に入ろうとしていると、わたしの足もとに子どもたちが遊んでいるサッカーボールが転がってきました。わたしは、少し助走をつけてそのサッカーボールを子どもたちの方に蹴り返そうとしました。なんということでしょう。ボールより遠くに飛んだのは、わたしの靴。一人の男の子がその靴を取りに行き、片足立ちになっているわたしの足もとに履きやすいようにきちんと置いてくれました。子どもなら、いえわたしだって、投げて返すところです。返ってきたボールをすぐにでも追いかけていだらうに……。わたしの見開いた目が細く細くなりました。礼はこんなふうに表示なくちゃ。子どもに教えられたひとこま、いえ、ふたこまでした。



12人13脚。1の足はどっち? 2の足はどっち?

9月3日(日)の夕方、職員が学級園のヘチマの世話をしていると、朝顔の水やりに来られていた1年生のお父さんが、「先生もたいへんですね。」と言いながら、お手伝いをしてくださったそうです。辺りがうす暗くなるまで、長い間お世話になったようです。ありがとうございます。

